

FUJITSU Software

インターステージ ナビゲーターサーバ

Interstage Navigator Server

ビジネス・インテリジェンス・ソフトウェア



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

利用者の視点で容易な情報活用ができる ビジネス・インテリジェンス・ソフトウェア

FUJITSU Software Interstage Navigator Server
で解決

こんな課題ありませんか？

必要なデータを 手軽に活用したい

- ・利用者が自分でレポートを作成したい
- ・利用者の視点で自由に切り口を設定して分析したい
- ・Webブラウザから簡単にデータを取り出したい
- ・会計年度 / 月度や前年同月比などの時系列分析レポートを簡単に作成したい

直感的かつ簡単な操作
で利用者の
情報活用を支援

手間をかけずに簡単に 情報活用を始めたい

- ・情報活用システムをすぐに導入したい
- ・必要なデータをすぐに使いたい
- ・データウェアハウスを構築せずに情報を活用したい
- ・データベースのデータとCSVファイルのデータを組み合わせたレポートを作成したい

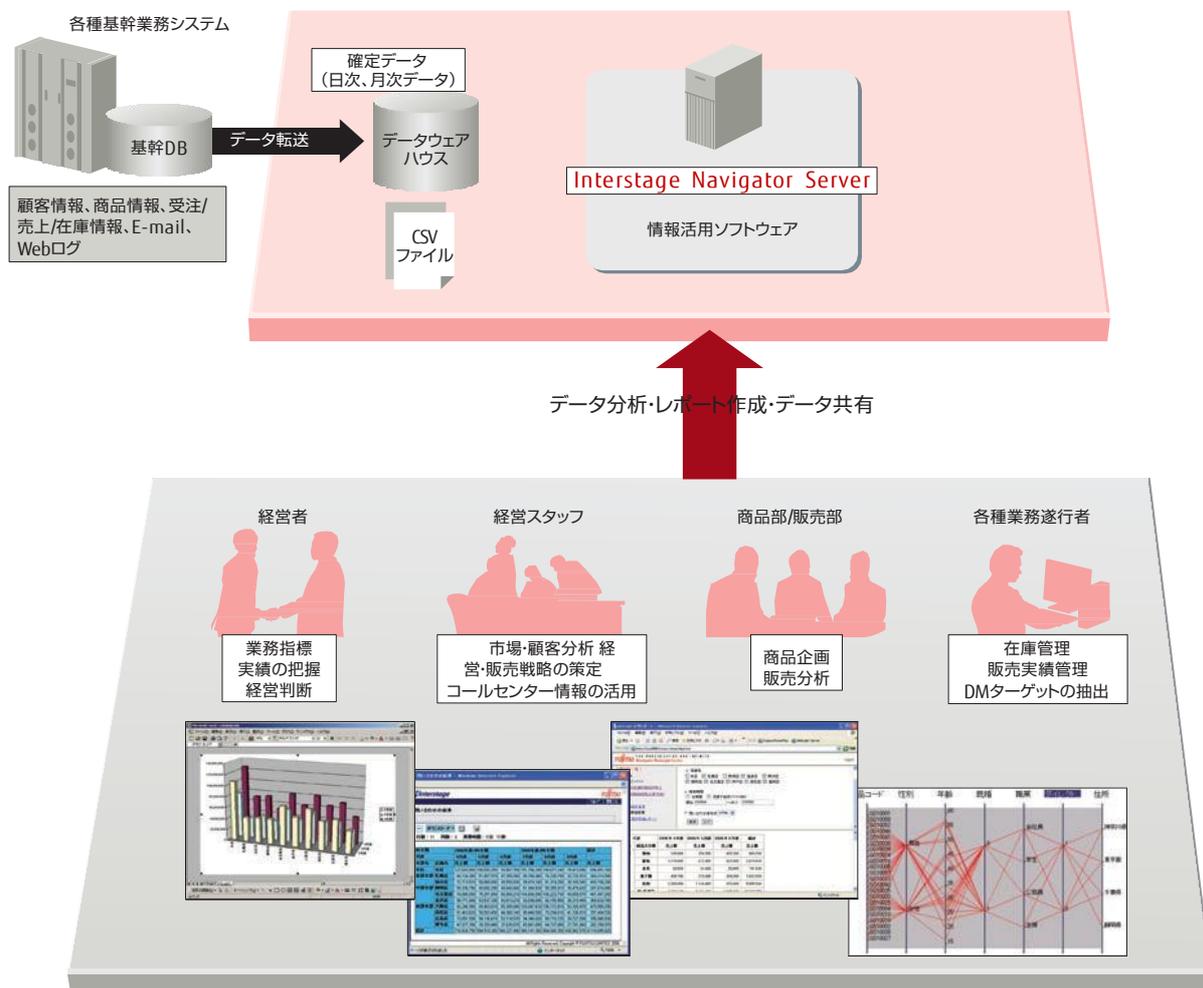
CSVファイルで
手軽に情報活用を開始

情報活用システムを 安全に運用したい

- ・利用者ごとに公開データを変えたい
- ・監査や万が一の調査に対して備えておきたい
- ・サーバの負荷を分散して運用を安定させたい

高度なセキュリティと
高いスケーラビリティ

活用シーン



用語解説

データマート： データウェアハウスが倉庫とすれば、データマートはスーパーマーケットに例えることができます。データウェアハウスのデータがエンドユーザの要求に合わせてコンパクトに整理されており、エンドユーザは必要な情報をデータマートから簡単に取り出すことができます。

OLAP： リレーショナルデータベースを対象にしたROLAP、多次元データベースを対象にしたMOLAPがあります。
(Online Analytical Processing) 企業活動のための多次元的技法(地域軸、商品軸、時間軸など)によって、効果的かつスピーディーにデータを分析することです。

直感的かつ簡単な操作で利用者の情報活用を支援

利用者自身による分析・管理のためのレポートの作成など、ビジネス・インテリジェンスを支援 Interstage Navigator Server [インターステージナビゲーターサーバ]

簡単操作で多彩なレポートを作成

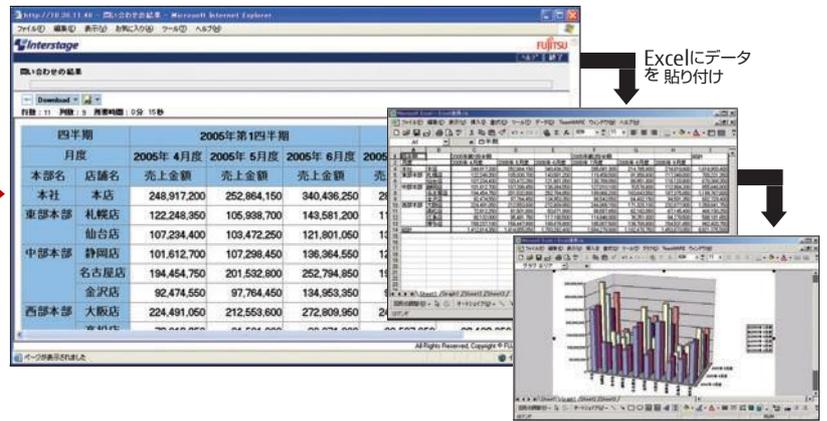
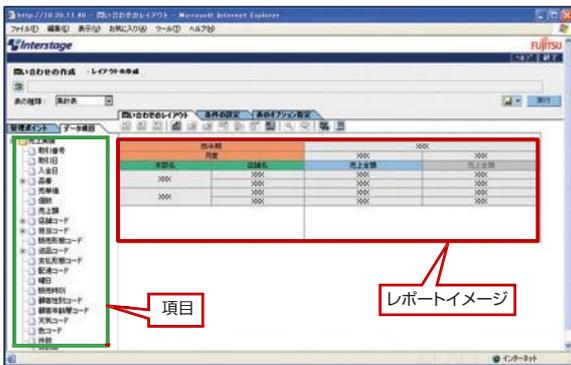
操作の簡単さ、作成可能レポートの豊富さ、分析視点の追加変更の容易さなどの特長により、利用者自身が必要なデータを必要なときに取り出す「利用者主体の情報活用」が可能になります。

・直感的なレポート作成

業務用語で表現された項目をイメージどおりに配置するだけの簡単な操作でレポートを作成できます。さらに、使い慣れた表計算ソフトとの連携により、データを自由に加工できます。

・Webブラウザでレポート作成

Webブラウザ上でも簡単な操作でレポートを作成できます。クライアントに専用ソフトウェアやプラグインをインストールする必要がないため、多数のクライアントから利用する場合の導入や保守のコストを削減できます。



Excelの機能でグラフを表示

・豊富なレポート形式

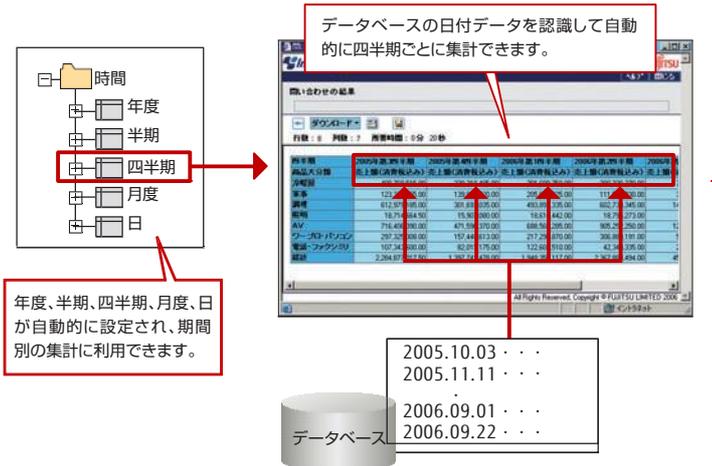
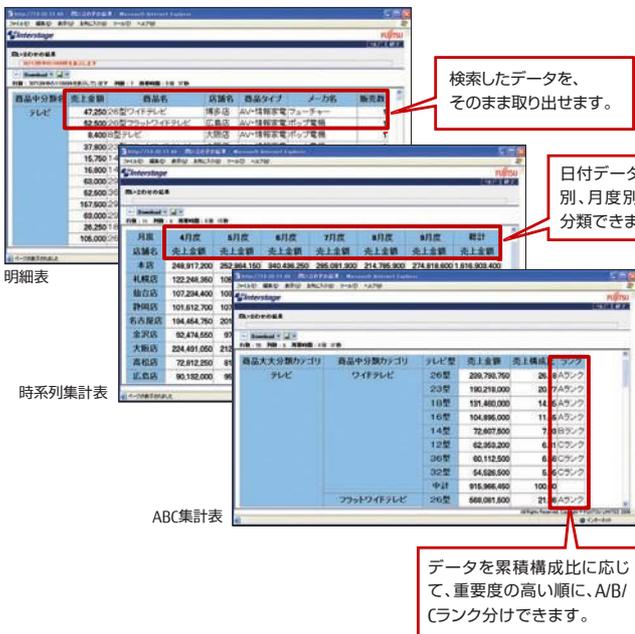
明細表や時系列分析表などの基本的なレポートから、ランキング集計表、予実管理表、分布集計表、ABC分析表などの高度な分析レポートまで、幅広いタイプのレポートをマウス操作だけで簡単に作成できます。

・分析視点の自由な追加

データベースを変更することなく、商品別、地域別など、利用者が自由に分析の視点(管理ポイントといいます)を追加できます。システム部門の負荷をかけずに欲しいときに欲しいレポートを作成できます。

・簡単に高度な時系列分析

企業独自の会計年度/月度もすぐに利用できる多彩な時系列の分析視点(年度別、月度別など)があらかじめ用意されています。さらに、「当月から過去3ヶ月間」のような相対的な期間指定、シンプルな操作でわかりやすい前期間(前年度比、前月比など)との比較集計、年度の和暦表示など、高度な時系列分析レポートを簡単に作成できます。



CSVファイルで手軽に情報活用を開始

CSVファイルですぐに始める情報活用

データベースを使わずにCSVファイルのままでデータを活用できるため、情報活用を簡単に始められます。また、CSVファイルは、システムや業務の規模に応じて、データベースと組み合わせて活用することもできます。

・短期間での簡単導入

CSVファイルのままでデータを活用できます。データベースを構築する必要がないため、分析データの設計やデータ検索レスポンスを向上させるためのRDBチューニングなど、データベースに関する作業が不要で、短期間でのシステム構築が可能です。少人数での情報活用に有効に利用できます。

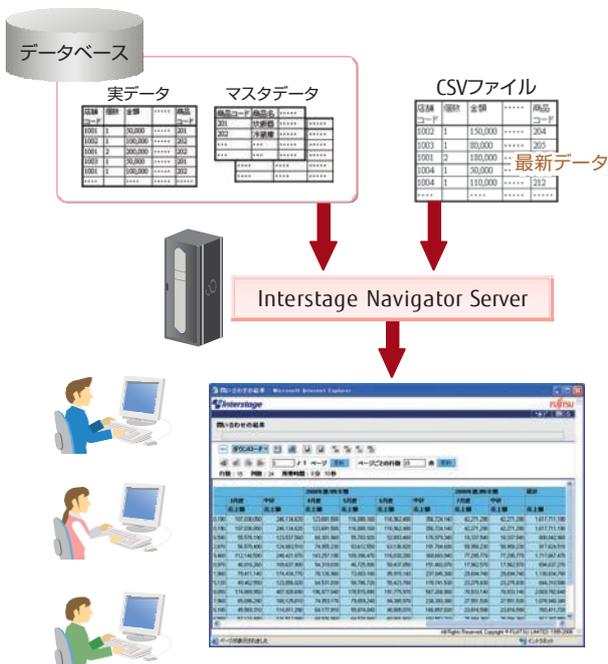


導入作業は3ステップで完了

1. 分析対象のCSVファイルを登録
2. CSVファイル間の関係づけを定義
3. 共通の分析の切り口を設定

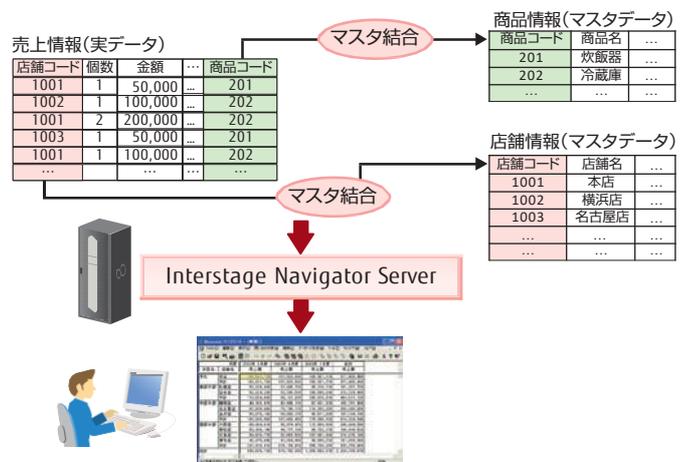
・データベースとCSVファイルを組み合わせる柔軟な情報活用

日次、月次バッチ等で更新された確定データに加えて、データベースに格納される前の直近のデータを使用したレポートを作成できます。前日分をデータベースから、当日午前中をCSVファイルから取り出し、1つのレポートとして作成するなど、データベースとCSVファイルを結合した利用が可能です。また、システム構築時に想定できなかった新しい分析要件に至急対応したいといった場合にも、CSVファイルを登録するだけで、簡単に分析できます。



・CSVファイルでも自由な分析

サーバ上のCSVファイルを複数の利用者で活用できます。複数のファイルからレポートを作成する場合も、利用者はファイル結合を意識することなく、簡単に操作できます。分析視点の自由な追加や高度な時系列分析も可能です。



■エディション別機能一覧

機能	Interstage Navigator Server	
	Standard Edition	Enterprise Edition
簡単操作で多彩なレポートを作成		
直感的なレポート作成GUI	○	○
豊富なレポート作成	○	○
簡単で高度な時系列分析	○	○
Webブラウザでレポート作成	○	○
分析視点の自由な追加	○	○
分析データ	CSVファイル	○*1
	データベースとCSVファイルの組み合わせ	○
強固なセキュリティ機能		
データ公開の制限	○*2	○
監査ログ	○*2	○
認証	OS認証	○
	ユーザー固有の認証システムの利用	—
接続制限	—	○
サーバの運用機能		
64ビット環境での運用	○	○
負荷分散型構成での運用	—	○
運用待機構成での運用	—	○
データマート生成	—	○
情報共有		
レポートの共有	○	○
条件指定画面の簡易作成	○	○

*1：Windows版で利用できます。Webブラウザからは利用できません。

*2：Standard Editionでは、一部の機能のみ使用できます。

高度なセキュリティと高いスケーラビリティ

強固なセキュリティ機能

システムをとりまく様々な脅威からデータを保護する豊富なセキュリティ機能により、安全性の高い情報活用システムを構築できます。

・データ公開の制限

テーブル、項目単位の設定だけでなくレコード単位でもデータ公開を制限できます。利用者の業務内容に合わせたきめ細かいデータ公開が可能です。

・監査ログ

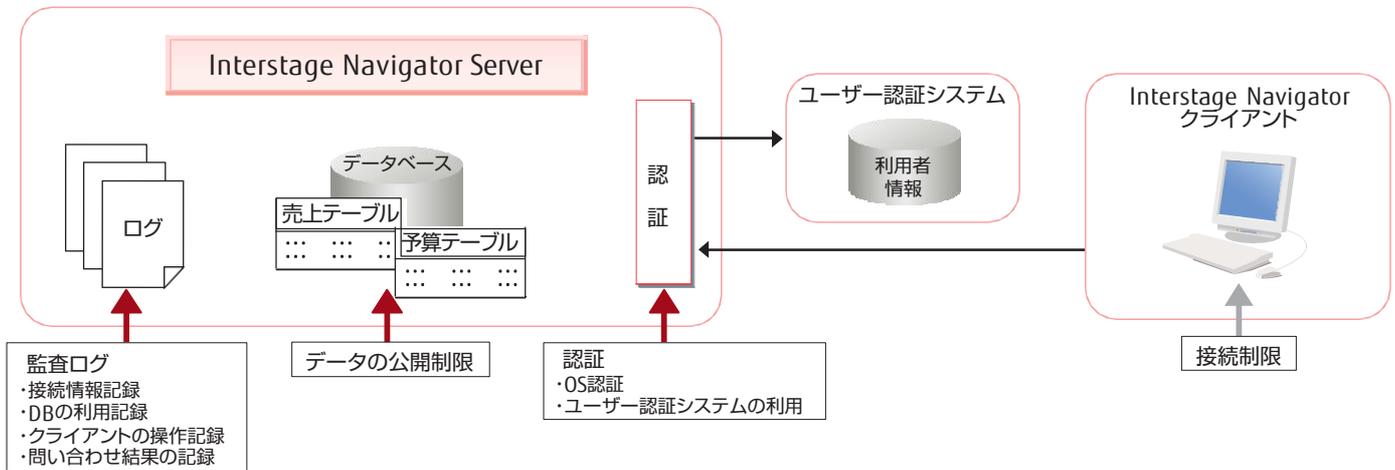
接続、データベースアクセスの記録から、クライアント上の操作内容や参照したデータの内容まで、利用者の行為を詳細に記録できます。

・認証

オペレーティングシステムによる認証(OS認証)のほか、全社統合認証システムなど認証管理を強化した外部認証システムとの連携による認証も可能です。

・接続制限

IPアドレスや接続ユーザー名などの条件の組み合わせによって、サーバへの接続を許可するクライアントを、きめ細かく制限できます。



Webを利用した効率的な情報共有

作成した定型レポートのWeb上での公開や、公開した定型レポートの自動更新・条件の変更による更新ができます。

・利用者間の情報共有

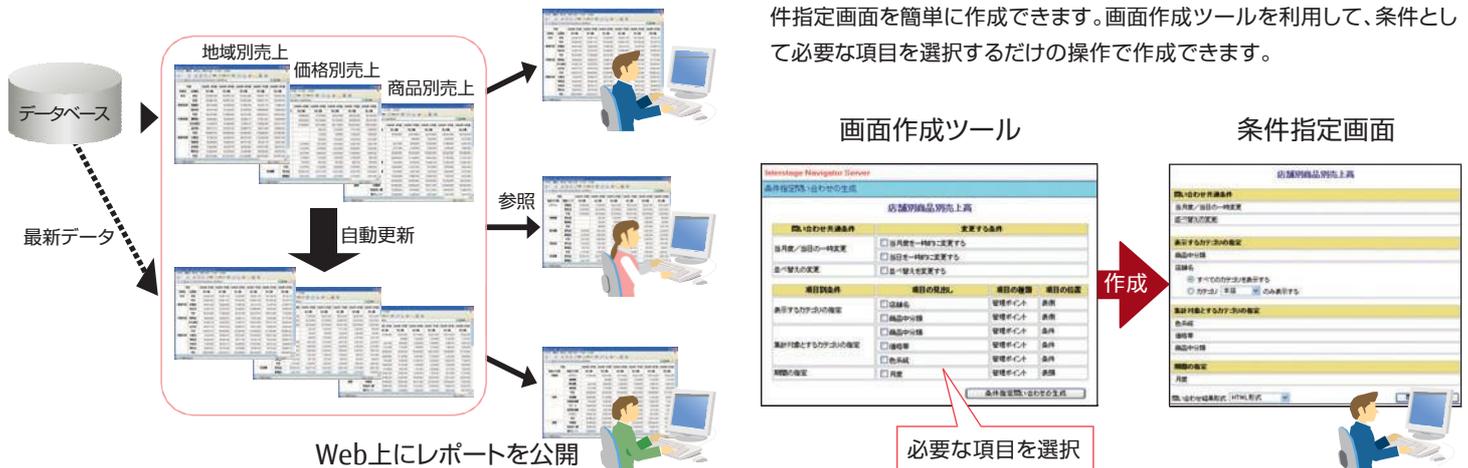
データウェアハウスのデータから作成したレポートを、Webブラウザを通じて幅広い利用者に公開できます。公開レポートは自動的に更新されるため、利用者は最新データを反映したレポートを活用でき、効率的な情報共有が可能になります。

・サーバ負荷を軽減

定型レポートは夜間にスケジュール実行できるため、日中のサーバの負荷を軽減できます。

・条件指定画面の簡易作成

Webブラウザから、利用者が必要なレポートを容易に取り出すための条件指定画面を簡単に作成できます。画面作成ツールを利用して、条件として必要な項目を選択するだけの操作で作成できます。



小規模な部門システムから大規模な全社システムまで対応

データや利用者数の増大にも確実に対応できる豊富な運用機能を提供しているため、高性能、高拡張性、高可用性が求められる全社的な情報活用システムの構築に最適です。

・高性能

処理能力の高い64ビット環境や大規模向けDBMSに対応しているため、大容量データに強い情報活用システムを構築できます。

・拡張性

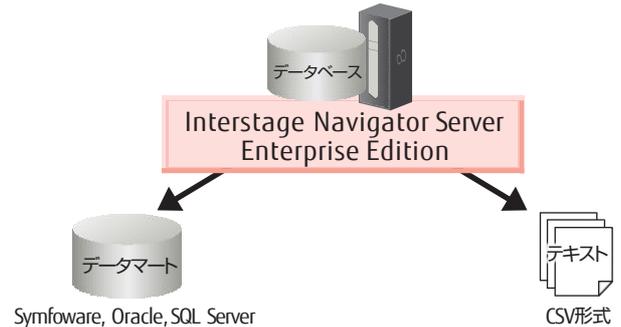
利用者の増加によるシステムの負荷を軽減するため、負荷分散装置を複数サーバ機による負荷分散構成で運用できます。

・信頼性

運用待機型のシステム構成により、万が一運用機が停止した場合でも、待機側のサーバで業務を継続できます。

データマート機能によってデータウェアハウスの運用負荷を軽減

データウェアハウスのデータを集計して作成したレポートを、簡単なマウス操作でテーブルやファイルに出力できます。さらに集計から出力までの一連の処理をバッチ実行できるため、アプリケーションを開発することなく簡単にデータマートを生成できます。



多彩なビジュアル表現力が情報活用をパワフルに支援

Interstage Navigator Serverの集計データを豊富なコンテンツでビジュアル化 Naviイントラエース [ナビイントラエース]

お客様固有レポート

100種類以上のレポート・シナリオから選択するだけの簡単操作で、分析帳票はもちろん多彩なグラフやマップが表示されます。



豊富なコンテンツ

基本グラフから専門グラフまで20種類以上のグラフや、エリアマーケティングに適したマップ（地図分析）、ダッシュボードなど、固有レポートと組み合わせることにより、さまざまな利用者、利用層が求めるニーズに対応できます。

共通ビュー+個人ビュー

全社なり部門なりでよく見るレポートを集めた「共通ビュー」に加え、個人で見たいビューを個人で作成できるプライベートBI機能を追加。より柔軟な情報活用が可能となります。

[従来]



[新規]



製品体系

カテゴリー	製品名	機能概要
情報統合・活用	Interstage Navigator Server Standard Edition	部門における情報活用に必要となる基本機能を備えたスタンダードモデルのBIソフトウェア
	Interstage Navigator Server Enterprise Edition	Interstage Navigator Server Standard Editionの機能に加えて、高いセキュリティ機能、運用機能、信頼性、スケーラビリティなどを備えたハイエンドモデルのBIソフトウェア

動作環境

製品名	サーバ動作OS	クライアント動作
Interstage Navigator Server Standard Edition Interstage Navigator Server Enterprise Edition	Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016 Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Microsoft® Windows Server® 2012 Oracle Solaris 11、Oracle Solaris 10 Red Hat Enterprise Linux 8 Red Hat Enterprise Linux 7 Red Hat Enterprise Linux 6	Windows® 10 Windows® 8.1

※動作対応ブラウザはMicrosoft Internet Explorerです。

- * Microsoft、Windows、Windows Server、Windows 10、Windows 8.1およびSQL Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- * Red Hatは米国およびその他の国でRed Hat, Inc.の登録商標若しくは商標です。LinuxはLinus Torvalds氏の商標です。
- * Interstage、Symfowareは富士通株式会社の登録商標です。
- * Oracle SolarisはSolaris、Solaris Operating System、Solaris OSと記載することがあります。
- * その他、使用している会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
- * 本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。



- このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
- このカタログは、FSC®森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口)

0120-933-200

受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/navigator/>

CZ1213-12-2020年10月